

# KYOTO UNIVERSITY 2020

令和2年度京都大学特色入試学生募集要項



# 目 次

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ	1
Ⅰ. 京都大学の基本理念	2
Ⅱ. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
Ⅲ. 京都大学特色入試の基本方針	4
Ⅳ. 募集人員・試験実施方式	5
Ⅴ. 選抜日程	6
Ⅵ. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、 提出書類、大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法 及び基準、第2次選考実施期日・場所	7
・総合人間学部	8
・文学部	10
・教育学部	12
・法学部	14
・経済学部	16
・理学部	18
・医学部医学科	20
・医学部人間健康科学科	22
・薬学部薬科学科	24
・薬学部薬学科	26
・工学部地球工学科	28
・工学部建築学科	30
・工学部物理工学科	32
・工学部電気電子工学科	34
・工学部情報学科	36
・工学部工業化学科	38
・農学部資源生物科学科	40
・農学部応用生命科学科	42
・農学部地域環境工学科	44
・農学部食料・環境経済学科	46
・農学部森林科学科	48
・農学部食品生物科学科	50
Ⅶ. 出願手続	52
Ⅷ. 入試情報開示	58
Ⅸ. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について	59
X. 受験に関する注意事項等	60
XⅠ. 合格者発表	62
XⅡ. 入学手続	64
XⅢ. 個人情報取り扱いについて	66
XⅣ. 修学案内	67

※法学部（後期日程）の出願手続・合格者発表・入学手続等については、12月公表予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。

# 「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ



京都大学は創立以来、対話を根幹とした自由の学風のもと自主独立と創造の精神を涵養し、多元的な課題の解決に挑戦して、地球社会の調和ある共存に貢献すべく、質の高い高等教育と先端的学術研究を推進してきました。

また、大学を社会や世界に開く窓として位置づけ、WINDOW構想（Wild & Wise, International & Innovative, Natural & Noble, Diverse & Dynamic, Original & Optimistic, Women & the World）の下に有能な学生や若い研究者の能力を高め、それぞれの活躍の場へと送り出す目標を掲げています。

京都大学特色入試は、高校教育から大学教育への接続を図り、社会の各界で積極的に活動できる人材や世界を牽引するグローバルリーダーを育成するため、高校での学修における行動や成果、および個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力ならびに志を総合的に評価する、京都大学独自の選抜方式です。

平成28年度から実施している特色入試も令和2年度（2020年度）入試で5年目を迎えます。より多くの意欲ある受験生が特色入試に挑戦し、京都大学の門戸を叩いてくれるよう、平成30年度入試からは全学部全学科で実施しています。

研究型総合大学である本学において、一般入試と特色入試で入学した多様な学生が切磋琢磨することによって、新しい考えが生み出されていくことを期待しており、分野を超えて異なる能力や発想に出会い、対話を楽しみ協力関係を形作る場を提供していきたいと考えています。そういった出会いや話し合いの場を通じて野生的で賢い学生を育て、彼らが活躍できる世界に向けた窓を開け、学生たちの背中をそっと押して送り出すことが、私たち京都大学の教職員の共通の夢であり目標です。

受験生の皆さんが、この特色入試という新しい扉を開けて、本学に集まってくれることを期待しています。

京都大学総長 山 極 壽 一

## I. 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地域社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

### ■研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

### ■教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

### ■社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

### ■運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に答える。

## Ⅱ. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者を選抜します。一般入試では、教科・科目等を定めて、大学入試センター試験と個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

### Ⅲ. 京都大学特色入試の基本方針

本特色入試では、高大接続と個々の学部の教育を受ける基礎学力を重視し、

①高等学校での学修における行動と成果の判定

②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学力及び個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書」や「推薦書」を提出していただきます。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴（例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、各種大会における入賞、教育委員会賞、国際バカロレアディプロマコース・SAT・TOEFL・TOEIC・英検の成績など）を記していただき、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを見ます。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から本学において何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学ぶ意欲や志について書類審査を通じて評価します。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、大学入試センター試験の成績、学部ごとの能力測定考査、論文試験、面接試験、口頭試問等を組み合わせて実施します。

#### IV. 募集人員・試験実施方式

学 部・学 科・コース名		募集人員	試験実施方式	
総合人間学部		5名	学力型 AO	
文学部		10名	学力型 AO	
教育学部		6名	学力型 AO	
法学部		20名	後期日程	
経済学部		25名	学力型 AO	
理学部		5名	学力型 AO	
医学部	医学科	5名	推薦	
	人間健康科学科	先端看護科学コース	20名	学力型 AO
		先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座）	5名	
		先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座）	5名	
薬学部	薬科学科	3名	学力型 AO	
	薬学科	3名		
工学部	地球工学科	3名	推薦	
	建築学科	2名		
	物理工学科	5名		
	電気電子工学科	7名		
	情報学科	3名		
	工業化学科	7名		
農学部	資源生物科学科	3名	学力型 AO	
	応用生命科学科	4名		
	地域環境工学科	3名		
	食料・環境経済学科	3名		
	森林科学科	3名		
	食品生物科学科	3名		
合計		158名		

- 注: 1. 法学部（後期日程）を除き、選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般入試（前期日程）の募集人員に加えます。
2. 法学部（後期日程）を除き、学部・学科間の併願はできません。
3. 国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、1つの大学・学部に限ります。
4. 本特色入試に出願できるのは、合格した場合に入学することが確約できる人に限ります。
5. 本特色入試に出願した場合でも、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等（本特色入試の「法学部」に出願した場合は「前期日程」の大学・学部等から1つのみ）に出願することができます。ただし、本特色入試の合格者は、本学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者となりません。
- なお、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会ホームページを参照のこと。  
<http://www.kodaikyo.org/nyushi>
6. 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。

## V. 選抜日程

学部・学科名		出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	第2次選考 結果発表	最終 合格発表				
総合人間学部		11/1~8	11/29	12/14	※	2/12				
文学部		11/1~8	11/29	12/14	※	2/12				
教育学部		10/1~7	11/6	11/16,17	12/12	2/12				
法学部		1/27~2/5	2/28	3/12	※	3/24				
経済学部		11/1~8	11/29	12/14	※	2/12				
理学部		10/1~7	11/6	11/16,17	12/12	2/12				
医学部	医学科	11/1~8	11/29	12/14,15	※	1/20				
	人間健康科学科	10/1~7	11/6	11/16,17	1/20	2/12				
薬学部	薬科学科	11/1~8	11/29	12/14	※	2/12				
	薬学科									
工学部	地球工学科	11/1~8	-	-	-	2/12				
	建築学科									
	物理工学科									
	電気電子工学科									
	情報学科						11/29	12/14	1/10	2/12
	工業化学科						11/29	-	-	2/12
農学部	資源生物科学科	11/1~8	11/29	12/14	1/10	2/12				
	応用生命科学科									
	地域環境工学科									
	食料・環境経済学科									
	森林科学科									
	食品生物科学科									

注：※については、第2次選考合格発表と最終合格発表が同じであることを示しています。

入学手続きは、法学部（後期日程）を除き、2月19日とします。法学部（後期日程）は3月27日とします。

○出願期間 △第1次選考結果発表 □第2次選考 ◇第2次選考結果発表 ☆最終合格発表 ●入学手続  
下欄の数字は日付を表す

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合人間学部			○ 1~8 △ 29 □ 14			☆ 12 ● 19	
文学部			○ 1~8 △ 29 □ 14			☆ 12 ● 19	
教育学部		○ 1~7	△ 6 □ 16,17	◇ 12		☆ 12 ● 19	
法学部					○ 1/27~2/5	△ 28	□ 12 ☆ 24 ● 27
経済学部			○ 1~8 △ 29 □ 14			☆ 12 ● 19	
理学部		○ 1~7	△ 6 □ 16,17	◇ 12		☆ 12 ● 19	
医学部	医学科		○ 1~8 △ 29 □ 14,15		☆ 20	● 19	
	人間健康科学科	○ 1~7	△ 6 □ 16,17		◇ 20	☆ 12 ● 19	
薬学部	薬科学科		○ 1~8 △ 29 □ 14			☆ 12 ● 19	
	薬学科		○ 1~8 △ 29 □ 14			☆ 12 ● 19	
工学部	地球工学科					☆ 12 ● 19	
	建築学科					☆ 12 ● 19	
	物理工学科					☆ 12 ● 19	
	電気電子工学科					☆ 12 ● 19	
	情報学科		○ 1~8 △ 29 □ 14	◇ 10		☆ 12 ● 19	
	工業化学科		○ 1~8 △ 29			☆ 12 ● 19	
農学部	資源生物科学科					☆ 12 ● 19	
	応用生命科学科					☆ 12 ● 19	
	地域環境工学科					☆ 12 ● 19	
	食料・環境経済学科					☆ 12 ● 19	
	森林科学科					☆ 12 ● 19	
	食品生物科学科		○ 1~8 △ 29 □ 14	◇ 10		☆ 12 ● 19	



VI. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、提出書類、  
大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法及び基準、第2次選考  
実施期日・場所

8～51ページのとおりです。学部・学科により異なりますので、注意してください。

# 【総合人間学部】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたくことを望んでいます。

## ◆募集人員

5名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学総合人間学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者
3. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（総合人間学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2、又は物理、化学、生物、地学から2 ※2

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、能力測定考査、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行い、上位50名程度を上限として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、能力測定考査（文系総合問題、理系総合問題）を行い、その成績、及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。

能力測定考査においては、文系総合問題では広く文化・科学・思想・社会などから出題し、長文の読解力や文章力を検査します。理系総合問題では一部に数学Ⅲの内容を含み、数理的思考力や論理的思考力を検査します。

能力測定考査の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合計
配点	100	100	200

大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点の合計が800点満点中概ね85%以上であることを求めます。

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	文系総合問題	10時00分～12時00分	京都大学総合人間学部
	理系総合問題	14時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに総合人間学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

## 【文学部】

試験実施方式：学力型 AO

### ◆求める人物像

文学部は、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。特色入試では、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

### ◆募集人員

10名

### ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

### ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学文学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（文学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

<p>【国語】国語</p> <p>【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2</p> <p>【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」</p> <p>【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1</p> <p>【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2</p>
---

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験の成績、論文試験、及び「学びの設計書」に関連する論述試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、「学びの設計書」に関連する論述試験及び論文試験を行います。

①「学びの設計書」に関連する論述試験及び提出書類、②論文試験についてA～Cの3段階評価を行い、①及び②の両方がAの者で、かつ大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中760点以上の者を合格者とします。

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	論述試験	10時00分～11時30分	京都大学文学部
	論文試験	13時00分～15時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに文学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【教育学部】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- 教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- 人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- 将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

## ◆募集人員

6名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年10月1日(火) 正午～10月7日(月) 午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月6日(水)
第2次選考実施日	令和元年11月16日(土)、17日(日)
第2次選考結果発表日	令和元年12月12日(木)
最終合格発表	令和2年2月12日(水)
入学手続	令和2年2月19日(水)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者
3. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校は出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出していただき、期末試験まで入った高校3年生前期の成績を11月1日(金)【午後3時必着】までに教育学部教務掛へ書留速達で郵送してください。
2. 学びの報告書	所定様式(教育学部用)により志願者本人が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(教育学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式が、京都大学特色入試 Web サイト

(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

※「学びの報告書」作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。

#### ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】 国語

【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【地歴・公民】 及び【理科】 については、次のどちらかを選択する。

・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1

・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※2 及び 物理、化学、生物、地学から2

【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。英語は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、課題、及び口頭試問によるパフォーマンス評価の成績、並びに大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。なお、パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物やそれに関わる活動を評価する方法です。

第1次選考は、調査書、学びの報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、課題と口頭試問により選考を行います。

・課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。

・口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

第2次選考における配点は、次のとおりとします。

試験の区分	課題	口頭試問	合計
配点	100	100	200

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中80%以上の者を合格者とします。

#### ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年11月16日(土)	課題	13時30分～16時30分	京都大学教育学部
令和元年11月17日(日)	口頭試問	9時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

#### ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な令和2センター試験成績請求票を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに教育学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

## 【法学部】

試験実施方式：後期日程

### ◆求める人物像

法学部は、特に次に掲げる能力及び資質等を備える人材を求めています。

- 様々な分野で、多様な人々と協働し、指導的な役割を果たす基盤とするため、多様な考え方を理解し、論拠を示して自らの意見を述べることができる基本的なコミュニケーション能力、とりわけ論理的な文章を書く力の基本を身につけていること
- グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること
- 人々が協働し共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること

### ◆募集人員

20名

### ◆選抜日程

インターネット出願登録・入学検定料納入期間	令和2年1月20日（月）～2月5日（水）午後5時まで
出願書類受理期間	令和2年1月27日（月）～2月5日（水）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和2年2月28日（金）
第2次選考実施日	令和2年3月12日（木）
最終合格発表	令和2年3月24日（火）
入学手続	令和2年3月27日（金）

※上記日程等については12月に公表予定の一般入試学生募集要項を確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（令和2年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号—大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの※

※個別入学資格審査の申請方法等については、7月に公表の一般入試選抜要項を確認のこと。

### ◆出願要件

令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験した者



◆提出書類

調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 (全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を備考欄に示してください。順位の記載が無い場合は出身高校に再提出を依頼します。)
-----	--

※出願書類については、12月に公表予定の一般入試学生募集要項を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 (世界史B、日本史Bのうち少なくとも1科目を選択すること。)
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、大学入試センター試験に利用する教科・科目の得点(ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)の合計、調査書の成績により選考を行い、募集人員の15.0倍程度を目安として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験及び小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、日本語と英語の文章を題材に、読解力、論理的思考力、表現力などについて評価します。

大学入試センター試験、小論文の配点は、次のとおりとします。( )内の数字は満点を表し、合計の900点満点を270点満点に換算して利用します。

試験の区分	大学入試センター試験					合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	
配点	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)

試験の区分	小論文	センター試験	合計
配点	100	270	370

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和2年3月12日(木)	小論文	14時00分~16時30分	京都大学法学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付の際にお知らせします。

## 【経済学部】

試験実施方式：学力型 AO

### ◆求める人物像

経済学部は、総合的な学力とともに、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性、そして高い自学自習の能力を持つ人材を求めています。

### ◆募集人員

25名

### ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

### ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（経済学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験（500点）を行い、その成績、第1次選考（100点）及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。なお、大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中概ね720点以上を合格の基準とします。

◆第2次選考実施期日・場所

日 程	内 容	時 間	場 所
令和元年12月14日（土）	論文	9時30分～12時30分	京都大学経済学部

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに経済学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

## 【理学部】

試験実施方式：学力型 AO

### ◆求める人物像

理学部は、自由な雰囲気の下で学問的創造を何よりも大切にし、自律的学修が推奨される学風のもとで、自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力と、個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力の養成を教育の目標にしています。そのために、理学科のみの1学科制の下で、緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ向う教育を行っています。

理学部が望む学生像は、自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人、高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人であり、この特色入試では、そのような人の中で、特に、数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人を求めています。

### ◆募集人員

5名

### ◆選抜日程

出願期間	令和元年10月1日（火）正午～10月7日（月）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月6日（水）
第2次選考実施日	令和元年11月16日（土）、17日（日）
第2次選考結果発表日	令和元年12月12日（木）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者
3. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日の時点において20歳未満で18歳に達したもの（個別入学資格審査の申請方法等については、7月に公表の令和2年度一般入試選抜要項を確認すること。）

### ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学理学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校は出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出していただき、期末試験まで入った高校3生前期の成績を11月1日（金）【午後3時必着】までに理学部教務掛へ書留速達で郵送してください。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの報告書	所定様式（理学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物、地学から2
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、数学に関する能力測定考査、口頭試問の成績により選考を行います。

数学に関する能力測定考査では、数理解答力、問題解決力、論理的思考力、明解な説明能力などについて評価します。

口頭試問では、意欲、適性などについて評価します。

数学に関する能力測定考査、及び口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	数 学	口頭試問	合 計
配 点	80	20	100

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中630点以上の者を合格者とします。

◆第2次選考実施期日・場所

日 程	内 容	時 間	場 所
令和元年11月16日(土)	数学	9時00分~13時00分	京都大学理学部
令和元年11月17日(日)	口頭試問	9時30分~17時30分	

※数学に関する能力測定考査の結果は、11月16日(土)午後10時(予定)に合否照会システムにて発表します。数学に関する能力測定考査の合格者に対して、11月17日(日)の口頭試問を実施します。

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(56ページ)の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに理学部教務掛へ提出してください(詳細は57ページ参照)。

## 【医学部医学科】

試験実施方式：推薦

### ◆求める人物像

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供するMD-PhDコースへの進学を希望する人材。

### ◆募集人員

5名

### ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）、15日（日）
最終合格発表	令和2年1月20日（月）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

### ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 国内の国際バカロレア認定校（DP）を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
3. 国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表として世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者
4. 国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表として世界大会に出場した者で、国内の国際バカロレア認定校（DP）を令和2年4月から令和3年3月までに卒業見込みの者
5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

### ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者
2. 調査書の全体の評定平均値4.7以上又は国際バカロレアのスコア（取得見込みの者はPredicted Grades）4.2以上の者
3. TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）のうち少なくとも1つを受験し、受験者成績書の原本を提出できる者
4. 本学医学部医学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

### ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、1名とします。

ただし、国際科学オリンピック（数学、物理、化学、生物）日本代表で世界大会に出場した令和3年3月卒業見込みの者は別枠で1名推薦可能とします。

### ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。出願資格の2、4に該当する者で、調査書の提出ができない場合は、国際バカロリア資格の成績証明書の原本（取得見込みの者は、学校長が発行する Predicted Grades）を提出すること。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（医学部医学科用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT のスコアレポート(ETS から郵送されるスコアレポート)の原本（PDF 版を印刷したものは不可）、又は IELTS の成績証明書（Test Report Form）の原本（コピー不可）	
5. 特色事項（各種コンクール、科学オリンピック等）に関する資料 *高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者及び国内の国際バカロリア認定校（DP）を令和2年4月から令和3年3月までに卒業見込みの者は提出必須	

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>）からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

### ◆選抜方法及び基準

提出書類、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して判定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験、及び面接試験の成績により選考します。

小論文試験では、論理的思考力、文章構成力などについて評価します。なお、理科（物理、化学、生物のうち2科目）の基礎知識を必要とします。

面接試験では、京都大学が望む医学研究者、医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価します。

なお、小論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	160	240	400

### ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	小論文	9時30分～12時00分	京都大学医学部医学科
令和元年12月15日（日）	面接	9時00分～13時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

※小論文試験の結果は、小論文試験日の午後8時（予定）に合否照会システムにて発表します。小論文試験合格者に対して、面接試験を実施します。

### ◆備考

特色入試に合格し、入学した者で本学が提供する MD-PhD コースへ進学する者には奨学金制度を設けております。

# 【医学部人間健康科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

医学部人間健康科学科は、国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや研究者の養成を推進します。特色入試ではこのうち看護師、保健師、理学療法士、作業療法士へのモチベーションを持った学生を募集します。多面的かつバランスの良い思考力で課題や問題を抽出し解決していく医療のエキスパートとなり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

先端看護科学コース 20 名

先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座） 5 名

先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座） 5 名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年10月1日（火）正午～10月7日（月）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月 6日（水）
第2次選考実施日	令和元年11月16日（土）、17日（日）
第2次選考結果発表日	令和2年 1月20日（月）
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学医学部人間健康科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.0以上の者
3. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校は、出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出していただき、期末試験まで入った高校3年生前期の成績を11月1日（金）【午後3時必着】までに医学部人間健康科学科教務掛へ書留速達で郵送してください。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（医学部人間健康科学科用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

先端看護科学コース及び先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座）
【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物から2
【外国語】英語 ※2



**先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座）**

【国語】国語

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【地歴・公民】及び【理科】については、次のいずれかを選択する。

- ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 及び 物理、化学、生物から1 ※1
- ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2
- ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 及び 物理、化学、生物から2
- ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 及び 物理、化学、生物から1 ※1 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2 ※3

【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含み、250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）とします。リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

※3 理科において同一名称を含む科目の組合せ（例えば「物理」と「物理基礎」のような組合せ）は選択できません。

**◆選抜方法及び基準**

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して判定します。

第1次選考は、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、面接試験、及び事前提出書類（調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書）により選考を行います。

論文試験では、医療専門職としての問題発見・解決能力などについて評価します。

面接試験では、医療専門職のリーダーとしての適性・コミュニケーション能力などについて評価します。

なお、第2次選考において、論文試験及び面接試験のいずれか一つ以上の得点が一定得点に達しなかった場合、不合格となることがあります。

最終選考は、第2次選考の成績上位者から順に、大学入試センター試験の指定した教科・科目の合計得点が950点満点中75%以上の者の中から合格者を決定します。

大学入試センター試験、論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

**先端看護科学コース及び先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座）**

試験の区分	大学入試センター試験					合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語(英語)	
配点	200	100	200	200	250	950

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

**先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座）**

試験の区分	大学入試センター試験					合計
	国語	数学	地歴・公民	理科	外国語(英語)	
配点	200	200	300		250	950

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

**◆第2次選考実施期日・場所**

日程	内容	時間	場所
令和元年11月16日（土）	論文	9時30分～12時30分	京都大学医学部 人間健康科学科
令和元年11月17日（日）	面接	9時00分～16時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

※面接の時間については、午前の部9：00～12：00又は午後の部13：00～16：30のいずれかを指定します。

**◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出**

第1次選考合格者は、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに医学部人間健康科学科教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【薬学部薬科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としています。

薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのため、十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、特に創薬に関心と興味を持ち、将来、博士学位を取得して、世界の薬科学の革新と発展をリードする研究者となる志と資質を有する人材を求めています。

特色入試では、知的好奇心に基づいた科学的探求力と英語力に優れ、自発的な自然科学の学習や探求活動を実施してきた人を求めます。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学薬学部薬科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者
3. TOEFL iBT スコアが概ね75点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）でオーバーオール・バンドスコア5.5以上、実用英語検定（英検）準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（薬学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物から2
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。  
 第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験は、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。

面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。

論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	論文	面接	合計
配点	200	200	400

最終合格者は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日(土)	論文	9時30分~12時30分	京都大学薬学部
	面接	13時30分~17時00分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(56ページ)の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに薬学部教務掛へ提出してください(詳細は57ページ参照)。

# 【薬学部薬学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としています。

薬学科では、医療薬学に関係する幅広い分野において、将来、薬剤師資格を有する研究者の国際的リーダーとして活躍することのできる人材、および高度な先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーとして社会に役立つ人材を育成しています。そのため、十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、将来は博士学位を取得して、薬剤師資格を活用できる研究者となる志と資質を有する人材を求めています。

特色入試では、知的好奇心に基づいた科学的探求力と対話力に優れ、医療人としての倫理性や社会性を持っており、自発的な科学の学習や探求活動を実施してきた人を求めます。

## ◆募集人員 3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学薬学部薬学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者
3. TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、実用英語検定（英検）のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）にあつては受験者成績書の原本を提出できる者、または実用英語検定（英検）にあつては合格証明書の原本を提出できる者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（薬学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物から2
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。  
 第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験は、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。

面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。

論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	論文	面接	合計
配点	200	200	400

最終合格者は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日(土)	論文	9時30分~12時30分	京都大学薬学部
	面接	13時30分~17時00分	

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(56ページ)の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者は、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに薬学部教務掛へ提出してください(詳細は57ページ参照)。

# 【工学部地球工学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

持続的な発展をめざす人類社会のより良い未来に向けて、社会インフラの構築や都市・地域の開発と防災、資源・エネルギーの高度利用と新規開発、地球・地域環境の保全と改善に関する革新的技術を自ら創り出すことに強い意欲をもち、それに必要な高い基礎学力を有し、将来、国際的視野をもったリーダーとなり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者、又は高校課程の数学、物理、化学の内少なくとも1科目においてきわめて優れた学業成績を修めた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部地球工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>）からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上であり、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、物理、化学の4科目の内少なくとも2科目の得点率が90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【工学部建築学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

建築学科は、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心を持ち、それらの特筆すべき能力、高い基礎学力とリーダーシップを持つ人材を求めています。

## ◆募集人員

2名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 国際的な科学競技会に出場した者、又は国内大会における成績優秀者、あるいは授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部建築学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>）からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。



## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上であり、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の2科目についてはいずれも得点率が90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【工学部物理工学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拡げていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、物理学を基礎とした工学を学ぶ強い意欲、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人を求めます。

## ◆募集人員

5名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部物理工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

#### ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

大学入試センター試験の合計得点が900点満点中85%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

#### ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【工学部電気電子工学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

自然現象や科学技術、特に電気電子工学関連の学術分野に対する強い興味と旺盛な探究心をもつとともに、専門教育を受けるのに十分な高い基礎学力と論理的思考力を有しており、かつ科学技術に関する特筆すべき能力やリーダーシップを備えた創造性豊かな人材を求めます。

## ◆募集人員

7名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部電気電子工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%を超えた者を合格者とします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【工学部情報学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

情報学科では、高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めています。特色入試ではさらに、授業科目の一環として実施した課題研究や、科学に関する課外活動で顕著な実績を上げた経験を有する人を求めます。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。  
 ※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）として利用します。リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。  
 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。  
 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して口頭試問により選考を行います。  
 口頭試問では、提出書類の記載事項の確認、高等学校での学修の確認、顕著な活動実績に関する科目についての高等学校の発展的内容に基づいた試問、英語による自己紹介などにより評価します。  
 口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	合計
配点	200	200

大学入試センター試験の成績は下表の点数に換算し、第2次選考に合格した者のうち得点の合計が1000点満点中850点以上の者を合格者とします。

試験の区分	大学入試センター試験					
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	150	100	250	250	250	1000

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	口頭試問	9時00分～17時30分	京都大学工学部 情報学科

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。  
 ※遠方からの受験生については、開始時間を配慮します。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な **令和2センター試験成績請求票** を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【工学部工業化学科】

試験実施方式：推薦

## ◆求める人物像

化学および化学に関連する工学の基礎学理を理解し、広い視野から物事を論理的に解決する能力、未知なる課題に取り組む意欲と創造性、高い倫理観、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを有し、将来、国際的に活躍する研究者、技術者になり得る人材を求めています。

## ◆募集人員

7名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
最終合格発表	令和2年 2月12日（水）
入学手続	令和2年 2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を令和2年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 化学に関する授業科目の一環として実施した課題研究や、化学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部工業化学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

## ◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。ただし、共同での活動実績については、志願者個人の貢献がわかる様に作成すること。



※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。  
※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

#### ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

#### ◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要に記載された内容により選考を行います。

最終選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上の者を合格者とします。ただし、80%に達しない科目がある場合は、不合格にすることがあります。

#### ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な 令和2センター試験成績請求票 を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【農学部資源生物科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

対象とする様々な生物と自ら向き合い、自ら問い、自ら考えて解決への道を切り拓く強い意欲を持ち、学問の基礎を大切にするとともに、生物学の幅広い応用展開について考えることのできる視野の広い探求心に満ちた人を求めています。特に、生物に対するきわめて豊かな知的好奇心と科学的探求心をもち、将来、博士の学位を取得して世界をリードする研究者となることを目指す人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部資源生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者
2. TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、実用英語検定（英検）のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL iBTスコアが概ね61点以上、TOEIC Listening & Reading Testスコアが概ね600点以上、実用英語検定（英検）2級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者
3. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト  
 (http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp) からダウンロードできます。  
 ※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物、地学から2
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。  
 ※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。  
 第1次選考は、提出書類により選考を行います。  
 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、面接試験の成績により選考を行います。  
 面接試験では、意欲、適性、及び意見を論理的に述べる能力などについて評価します。  
 面接試験の配点は次のとおりとします。

試験の区分	面接	合計
配点	200	200

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、第2次選考とセンター試験の成績により合格者を決定します。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日(土)	面接	9時00分~17時30分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付(56ページ)の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください(詳細は57ページ参照)。

# 【農学部応用生命科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

生命現象や生物の機能を化学的なアプローチによって解明・活用することに興味があり、歴史を踏まえて自身と社会の未来を設計することができ、多くの分野にまたがる領域にも飛び込んでいける人材を求めています。

## ◆募集人員

4名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部応用生命科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史Bから1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】化学、生物
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、応用生命科学領域に関するテーマについて、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。 ※3

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	250	250	500

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中630点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

※3 京都大学農学部応用生命科学科では、生命・食・環境をキーワードとし、化学と生物にまたがる基礎と応用を志向した農芸化学領域の教育・研究をしています。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	小論文	9時00分～11時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分～17時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【農学部地域環境工学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識と工学的問題解決能力を持って社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日(金)正午～11月8日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日(金)
第2次選考実施日	令和元年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日(金)
最終合格発表	令和2年2月12日(水)
入学手続	令和2年2月19日(水)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部地域環境工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(農学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 WEB サイト

(<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物、地学から1
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、問題解決能力、論理的思考力などについて評価します。

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	250	250	500

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の成績を下表の点数に換算し、800点満点中概ね640点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

試験の区分	大学入試センター試験					
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計
配点	100	100	200	200	200	800

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	小論文	9時00分～12時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分～17時30分	

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【農学部食料・環境経済学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

食料・環境・農業などの分野において、大学卒業後、大学院へ進学する意欲を持ち、高度な専門知識を持って国際社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部食料・環境経済学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。



## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物、地学から2
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。長文の英文について内容を正確に読み取り分析した上で、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。

小論文試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	合計
配点	200	200

（英文課題を2つ、それぞれ100点）

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中、概ね720点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	小論文	9時00分～12時00分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【農学部森林科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

森林・木質資源に関する基礎及び応用科学の分野について学びつつ、研究を深めることに強い関心があり、卒業後に森林科学の立場から社会に貢献するための高度な専門知識と問題解決能力を習得する強い意欲と能力のある人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部森林科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

## ◆大学入試センター試験利用教科・科目名

<p>【国語】国語</p> <p>【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1</p> <p>【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」</p> <p>【理科】物理、化学、生物、地学から2</p> <p>【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2</p>
---

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

## ◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、環境・資源などに関する英語の長文を読み日本語で論述する形式などです。正確に記述内容を把握する能力と、自分の考えを論理的に説明する能力などにより評価します。

面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。

小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	200	100	300

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

## ◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	小論文	9時00分～12時00分	京都大学農学部
	面接	13時30分～17時45分	

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

## ◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

# 【農学部食品生物科学科】

試験実施方式：学力型 AO

## ◆求める人物像

大学卒業後、大学院修士・博士後期課程に進学して博士の学位を取得し、大学院修了後、国際的に活躍する人材を求めています。

## ◆募集人員

3名

## ◆選抜日程

出願期間	令和元年11月1日（金）正午～11月8日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	令和元年11月29日（金）
第2次選考実施日	令和元年12月14日（土）
第2次選考結果発表日	令和2年1月10日（金）
最終合格発表	令和2年2月12日（水）
入学手続	令和2年2月19日（水）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

## ◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

## ◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部食品生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者
2. TOEFL iBT スコアが概ね80点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）でオーバーオール・バンドスコア6.0以上、TOEIC Listening & Reading Test スコアが概ね800点以上、実用英語検定（英検）準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者
3. 令和2年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

## ◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

※出願書類については、52ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
【理科】物理、化学、生物から2
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

◆選抜方法及び基準

大学入試センター試験、提出書類、及び口頭試問の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問の成績により選考を行います。口頭試問の配点は100点満点とし、基礎学力及び論理的思考について評価します。

口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	合計
配点	100	100

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中750点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和元年12月14日（土）	口頭試問	9時00分～17時30分	京都大学農学部

※場所及び集合時間等の詳細については、受験票送付（56ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、京都大学特色入試Webサイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和2センター試験成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は57ページ参照）。

## Ⅶ. 出 願 手 続

(法学部(後期日程)については、12月公表予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」をすることにより完了します。不備のないよう注意してください。

### 1. 出願手順

#### (1) 事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン等の準備  
ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。
- ②プリンタの準備  
インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷するために必要です。
- ③必要書類の準備(54ページ[3.出願に要する書類等]参照)
- ④角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)の準備  
出願に必要な書類を送付するため、市販の角形2号(角2)封筒を準備ください。

#### (2) インターネット出願システムに登録する

インターネット出願システムのページには、京都大学特色入試Webサイトからアクセスできます。<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>

#### (3) 出願登録

画面の案内に従って、志望情報、志願者個人情報を入力します。

#### (4) 出願内容の確認

登録した内容を確認してください。内容に間違いがある場合は、「修正する」ボタンを押して修正してください。

#### (5) 入学検定料等納入方法の選択(決済情報入力)

画面の指示に従って、入学検定料等の納入方法を選択してください。納入方法として「クレジットカードで支払う」もしくは「コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで支払う」のどちらかを選択できます。

※出願登録の際に必要な料金は以下のとおりとなります。

- ①入学検定料(17,000円)
- ②受験票等送付料(370円\*)
- ③試験成績送付料(490円\*) ※希望者のみ。詳細は58ページ参照。

以上①～③の料金の他に支払い手数料が必要となります。

※令和元年10月に消費税率引き上げが予定されています。出願時に、各料金は改定されることがありますので、インターネット出願システム画面で確認してください。

※出願書類を受理した後は、53ページ[※検定料の返還について]のA、イに該当する場合を除き、いかなる理由があっても納入済みの入学検定料は返金しませんので注意してください。

※入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

#### (6) 宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷する

出願登録完了画面からダウンロードできる宛名ラベルおよび志願票・写真票を印刷してください。

## (7) 必要書類の郵送

宛名ラベルを貼り付けた封筒に必要書類を封入し、必ず、書留の速達便で郵送してください。  
なお、いかなる理由があっても持参による出願は、一切受け付けませんので注意してください。

## 2. 入学検定料等の納入方法等

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

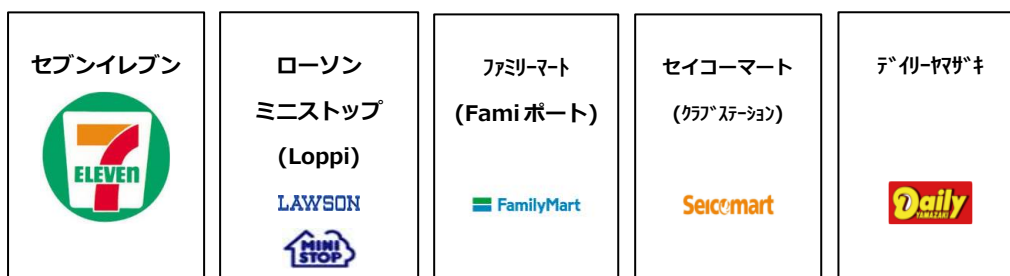
詳しい支払い方法については、出願をする際に、インターネット出願システム上の「入学検定料の支払方法について」のページを確認してください。

### ① クレジットカード

クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、出願前にクレジットカードを準備してください。支払い方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。お支払いされるカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。

### ② コンビニエンスストア

現金での支払いとなります。以下のコンビニで支払いが可能です。



### ③ 金融機関 ATM【Pay-easy】

金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。支払い可能金融機関は下記ページの「ATM 利用可能一覧」を確認してください。

[http://www.well-net.jp/multi/financial\\_list/index.html](http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html)

### ④ ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。

また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

### ※検定料の返還について

#### ア. 第 1 次選考不合格者

検定料の一部（13,000円）を返還します。不合格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。

#### イ. 検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合および誤って二重に納入した場合

検定料の全額（17,000円）及び受験票等送付料（370円\*）を返還します。検定料の返還を希望する旨を明記のうえ、①出願番号 ②志願者氏名 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥検定料の納入方法 ⑦納入した金融機関名及び支店名又はコンビニエンスストア名及び店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。

\*令和元年10月に消費税率引き上げが予定されています。出願時に、料金は改定されることがありますので、インターネット出願システム画面で確認してください。

ウ. 連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

TEL: 075-753-2521 FAX: 075-753-2565

平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震、平成30年7月豪雨及び平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、入試企画課（TEL: 075-753-2521）へお問い合わせください。

3. 出願に要する書類等

市販の封筒（角2サイズ 240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての必要書類を封入し郵送してください。

※添付資料が多い場合は、角2サイズより大きな封筒で郵送してもかまいません。

【全学部共通】

① 志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。 写真票については、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。
② 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 *調査書が得られない場合は、56ページに記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。

【学部が定める提出書類<総合人間・文・経済・医（人間健康科学科）・薬・農学部>】

学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（各学部用）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。 *学部（学科）によって様式が異なります。
TOEFL iBT、IELTSの受験者成績書の原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	【薬学部】の志願者のみ提出してください。コピー不可。
TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	【農学部資源生物科学科】の志願者のみ提出してください。コピー不可。



TOEFL iBT、IELTS、TOEIC Listening & Reading Testの受験者成績書原本、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つ	<b>【農学部食品生物科学科】</b> の志願者のみ提出してください。コピー不可。
--	---

#### 【学部が定める提出書類<教育学部>】

学びの報告書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。
学びの設計書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

#### 【学部が定める提出書類<理学部>】

学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの報告書（理学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
入学資格認定書(写) （該当者のみ）	<b>【理学部】</b> の「出願資格3.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。

#### 【学部が定める提出書類<医学部（医学科）>】

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（医学部医学科）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
TOEFL iBTのスコアレポート、又はIELTSの成績証明書の原本	コピー不可。
特色事項（各種コンクール、科学オリンピック等に関する資料）	* 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月卒業見込みの者及び国内の国際バカロレア認定校（DP）を令和2年4月から令和3年3月までに卒業見込みの者は提出必須

#### 【学部が定める提出書類<工学部>】

推 薦 書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
学びの設計書（工学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
顕著な活動実績の概要 （電気電子工学科、情報学科、工業化学科）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

#### 【各種様式等のダウンロードについて】

「学業活動報告書」及び「推薦書」の作成にあたっては、それぞれの「作成の手引き」を参照してください。学部・学科別各種様式と「学業活動報告書・推薦書作成の手引き」は、京都大学特色入試Webサイト (<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>) からダウンロードできます。

### 【調査書に代えることができる書類について】

- (1) 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、「卒業証明書及び成績証明書」を提出してください。成績証明書等を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
- (2) 上記(1)以外の者は、「修了証明書(資格証明書)及び成績証明書」を提出してください。

### 【注意事項】

- (1) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- (2) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (3) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。
- (4) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、入学予定学部の教務担当(73ページ参照)に退学証明書を速やかに提出してください。

## 4. 出願期間および入学検定料納入期間

### 【教育・理・医(人間健康科学科)学部】

令和元年10月1日(火)正午から10月7日(月)午後5時(必着)まで

### 【総合人間・文・経済・医(医学科)・薬・工・農学部】

令和元年11月1日(金)正午から11月8日(金)午後5時(必着)まで

この期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本学に到着していなければなりません。(持参不可)

## 5. 出願状況の情報提供

- (1) 各学部の出願状況について、出願期間終了後、京都大学特色入試 Web サイト上に情報提供を行います。
- (2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、日本郵便の追跡サービス(<https://www.post.japanpost.jp/index.html>)をご利用ください。

## 6. 第1次選考結果発表・受験票の送付

第1次選考結果発表・受験票の送付は、以下のとおり行います。

### 【総合人間・文・教育・経済・理・医・薬・工(情報学科・工業化学科)・農学部】

下記期日に、第1次選考合格者には「受験票」等を発送します。なお、第1次選考不合格者には不合格通知書を送付します。

教育・理・医(人間健康科学科)学部	令和元年11月6日(水)
総合人間・文・経済・医(医学科)・薬・工(情報学科・工業化学科)・農学部	令和元年11月29日(金)

### 【工学部(地球工学科・建築学科・物理工学科・電気電子工学科)】

令和元年11月29日(金)に、志願者全員に「受験票」等を発送します。

## 7. 大学入試センター試験成績請求票の提出（医学部医学科を除く）

対象者に別途、関係する通知文書を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な令和2センター試験成績請求票を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに出願した学部の教務担当へ提出してください。

なお、この成績請求票を提出しない場合は、受験者としての権利を失います。

また、特別な事情により、期限までに提出できない者は、学部の教務担当（73ページ参照）へ連絡してください。

成績請求票貼付用台紙に次の成績請求票を枠内に貼り付けてください。

【総合人間・文・教育・経済・理・医（人間健康科学科）・薬・農学部】→「**AO**国公立AO入試用」

【工学部】→「**推薦**国公立推薦入試用」

## Ⅷ. 入試情報開示

本学では、試験成績、調査票について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

### 【試験成績】

令和2年度特色入試の試験成績の開示を希望する者は、インターネット出願システムで試験成績送付を申し込んでください(送付料として490円\*が必要です)。令和2年5月上旬に書留郵便(親展)で送付します。

開示する試験成績は、大学入試センター試験(医学部医学科を除く)の教科別の得点(配点換算前及び換算後)と受験した学部における第2次選考の教科別の得点及び総点または段階評価です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。なお、合格者数が5名未満の場合及び得点による評価をしない場合は、合格者の最高点、最低点及び平均点は記載しないことがあります。

また、特色入試の受験者本人に限り、令和2年7月1日(水)から令和2年11月30日(月)の間に、受験学部の教務担当事務室(場所は73ページ参照)において試験成績を開示します(本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください)。

※試験成績送付申し込み者のうち第1次選考不合格者に対しては、試験成績送付料(490円\*)を返還します。不合格通知書等を送付する際に、返還手続方法についてもあわせてお知らせします。

\*令和元年10月に消費税率引き上げが予定されています。出願時に、料金は改定されることがありますので、インターネット出願システム画面で確認してください。

### 【調査書】

令和2年度特色入試の調査書の開示を希望する者は、令和2年7月1日(水)から令和2年11月30日(月)までの間に、受験学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が受験学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに特色入試の受験者本人に限りますので、本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報(「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄)を除いた部分となります。

### 《注意事項》

試験成績・調査書共に、遠方に居住しているため、直接本学に出向くことが困難な方については、郵送にて請求を受け付けますので、必ず受験学部の教務担当事務室に連絡したうえ請求してください。

## IX. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

(法学部(後期日程)については、7月公表の一般入試選抜要項をご確認ください。)

本学では、障害等のある受験希望者からの入学試験における合理的配慮の提供に関する相談を常時受け付けています。下の様式を用いて、志望する学部の教務担当へ連絡してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、原則として志望する学部・学科の第2次選考期日の2カ月前までに連絡してください。また、不慮の事故等で志望する学部・学科の第2次選考期日の2カ月前以降に相談が必要となった場合も、できるだけ早くに志望する学部の教務担当へ連絡してください。

(様式) A4 判縦	令和 年 月 日
京都大学〇〇学部長 殿	
氏名(ふりがな)・性別・生年月日	
連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)	
出身学校名・卒業/卒業見込み年月	
試験当日の保護者等緊急連絡先(電話番号)	
京都大学〇〇学部に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談を希望します。	
記	
1. 志望する学部・学科、受験科目	
2. 障害等の種類、程度	
3. 受験上希望する配慮事項	
4. 添付書類	
・医師の診断書	
・大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写)(通知を受けている者)	
・その他、相談する際に必要と思われる参考資料	
例) 障害者手帳(写)、検査結果(写)、これまでの教育機関における配慮事項、日常生活の状況 など	

※本学では、受験上の配慮とともに、修学上の配慮に関する相談も受け付けています。修学上の配慮について、受験上の配慮とあわせて相談する場合は、希望する配慮事項を別紙(A4判縦、様式自由)に記載して、上記様式に添付してください。修学上の配慮に関する相談は、合格発表後あるいは入学後でも構いませんが、対応に時間を要することがありますので、できるだけ早くに学部の教務担当に連絡してください。

※個人情報については、[独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律]及び[京都大学における個人情報の保護に関する規程]に基づいて取り扱います。

## X. 受験に関する注意事項等

(法学部(後期日程)については、12月公表予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

1. **受験に関する注意事項等**は、第2次選考日の前日午後に、出願した学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください。
2. 第2次選考日の前日及び当日の自動車、バイク等での試験場構内への乗入を禁止します。
3. 第2次選考日の当日は、**本学の受験票**を必ず持参してください(入学手続きの際には、本学の受験票と大学入試センター試験の受験票が必要になります)。
4. 第2次選考日の当日は、各学部の指示する時刻及び場所に集合してください(時刻の指示がない場合は**試験開始30分前**までに集合してください)。ただし、**面接、口頭試問の集合時刻・場所**については、受験票送付時に**別途通知**します。
5. 試験開始時刻に遅れた場合は、各教科等とも**試験開始後30分以内**に限り入室を認めます。ただし、**面接、口頭試問の控え室への入室限度時刻**については、受験票送付時に**別途通知**しますので注意してください。
6. 第2次選考において使用を認めるものは、**黒鉛筆**(シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと)・**鉛筆削り**(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)・**消しゴム**・**ハンカチ**(漢字、英文字や地図等がプリントされていないもの)・**ティッシュペーパー**(袋または箱から中身だけを取り出したもの)に限りです。※定規等の補助具は使用できません。  
また、**座布団及びひざ掛け(コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む)**で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。  
健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。  
なお、**時計(腕時計・置時計・スマートウォッチ等)**は試験室に入る前にかばんに入れておいてください。各試験室に電波時計を設置していますので、試験時間の確認は可能です。
7. **携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子機器類**は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。試験時間中に身につけている場合、不正行為と見なすことがありますので注意してください。これらを時計として使用することはできません。
8. 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
9. 不正行為等(★「**不正行為等の取り扱い**」参照)の理由で退場を命じられた者は、受験資格を失います。
10. その他受験に関する問い合わせは、出願した学部の教務担当(73ページ参照)に照会してください。

### 詐欺まがいの行為に注意してください!

例年、試験場周辺において本学関係者を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

本学関係者が受験者の個人情報聞き出し、現金を要求することは一切ありません。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、全教科の受験資格を失うことになります。

ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。  
イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用、他の人から答えを教わることなど）を行うこと。  
ウ. 他の受験者に答えを教えたり、解答冊子の交換等により、カンニングの手助けを行うこと。  
エ. 試験時間中に、問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。  
オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。  
カ. 試験時間中に、スマートウォッチ等のウェアラブル端末・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類を使用すること。  
キ. 試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。  
ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず、解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次の行為を行うと不正行為となることがあり、場合によっては、文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

ア. 試験時間中に、時計（腕時計・置時計・スマートウォッチ等）・携帯電話・スマートフォン・電子辞書等の電子機器類や定規・コンパス・電卓等の補助具をかばん等にしまわず、机の上に置いたり、身につけていたり、手に持っていること。  
イ. 解答冊子の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。  
ウ. 試験時間中に、長い間、机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ、その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は、全教科の受験資格を失うことになります。

ア. 監督者の指示に従わず、他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。  
イ. その他、試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。

## XI. 合格者発表

(法学部(後期日程)については、12月公表予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

### 1. 第2次選考結果発表

第2次選考結果発表は、以下のとおり行います。

#### 【教育・理・医(人間健康科学科)・工(情報学科)・農学部】

下記日時に、「合否照会システム」による発表を行います(詳細は63ページ参照)。

教育・理学部	令和元年12月12日(木) 正午
医学部(人間健康科学科)	令和2年 1月20日(月) 正午
工(情報学科)・農学部	令和2年 1月10日(金) 正午

※上記以外の学部(学科)については、第2次選考結果発表と最終合格発表が同じになります。

※電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

### 2. 最終合格発表

最終合格者の発表は、次の日時・場所において、合格者の受験番号を掲示します。

また、「合否照会システム」による発表を行います(詳細は63ページ参照)。

#### 【医学部(医学科)】

発表日	時間	場所
令和2年1月20日(月)	正午	医学部(医学科)の掲示場
掲示期間：令和2年1月20日(月)正午～1月27日(月)午後5時		

#### 【総合人間・文・教育・経済・理・医(人間健康科学科)・薬・工・農学部】

発表日	時間	場所
令和2年2月12日(水)	正午	各学部の掲示場
掲示期間：令和2年2月12日(水)正午～2月19日(水)午後5時		

※受験者への合否の通知等はいりません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

なお、合格者へは、入学手続に関する案内等を合格発表日に本学から発送予定です。



## ◆ 合否照会システムの利用方法について

### ■WEB による合否結果通知

#### 1. URL の入力

URL: <https://www.gouhi.com/kyoto-u/>



※バーコードリーダー対応スマートフォン等をお持ちの方は、右の二次元バーコードを読み取り、表示された URL をクリックしてインターネットに接続してください。

#### 2. 受験学部番号の入力

※下記参照

#### 3. 受験番号の入力

例: 0001

#### 4. 生年月日の入力

例: 平成 11 年 1 月 12 日生  
→H110112  
平成=H 昭和=S

#### 5. 選考結果の確認



スマートフォン・パソコン共にフローは同じです。※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

### ■音声 による合否結果通知

<電話による合否確認方法> ※ 音声ガイダンスの指示に従い操作を行ってください。

① ☎ **03-4550-2464**

合否結果案内センターに電話する。

② 「こちらは、京都大学選考結果案内センターです。回線を確認しますので、\*印と0をプッシュしてください」

③ あなたの受験学部番号 1 桁をプッシュしてください。  
※下記参照

④ あなたの受験番号 4 桁をプッシュしてください。例: 0001

⑤ あなたの生年月日をプッシュしてください。  
例: 平成 11 年 1 月 12 日生 → 1110112  
**平成=1 昭和=2** に変換してください。

⑥ 選考結果の確認音声がかかります。

・発表開始直後は電話がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をずらしてかけ直してください。

#### ※受験学部番号

総合人間学部【0】 文学部【1】 教育学部【2】 経済学部【4】 理学部【5】 医学部【6】 薬学部【7】 工学部【8】 農学部【9】

## XII. 入学手続

(法学部(後期日程)については、12月公表予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

入学手続は、「1. 入学手続に必要なもの」を期限までに、京都大学特色入試Webサイトから印刷した入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により書留速達で郵送してください。

### 1. 入学手続に必要なもの

(1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000円(予定)>

(注) 受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

(2) 大学入試センター試験受験票(医学部医学科を除く)

(3) 本学受験票

(4) 学籍登録シート

(注) 受験票送付時に同封する「学籍登録シート」に写真※を貼付し、氏名等の修正の有無を記入してください。「大学入試センター試験受験票」記載の「氏名・フリガナ・生年月日」を学籍情報として登録し、学生証を作成しますので、氏名等を必ず確認し、その記載に間違い等がある場合は、それを訂正してください。訂正がない場合は、「訂正無し」欄にチェックを入れてください。(大学入試センター試験不受験の方は、《氏名等の確認》の①に漢字氏名、②にカナ氏名および生年月日を記入してください。)

※写真について

- ・サイズは縦3cm×横2.4cm、脱帽正面向きで3か月以内に撮影したもの。光沢仕上げ(絹目仕上げは不可)。
- ・裏面に氏名、合格した学部・学科名及び本学の受験番号を記入してください。
- ・写真は学生証に印刷され、在学期間中(4年間または6年間)使用しますので、高等学校等の制服着用のは避けてください。写真を変更するために学生証を再作成する場合は有料となります。

【入学料等について】

ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学手続時まで金融機関(ゆうちょ銀行及び郵便局は除く)の窓口で納入してください。振込の際、収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。

イ. 納入した入学料は、返還しません。ただし、所定の入学手続期間内に入学辞退を申し出た者についてはこの限りではありません。

ウ. 授業料は、入学後に口座振替により納入いただきます。(引落時期:5月27日、11月27日)

※27日が土日祝日の場合はその翌営業日が振替日となります。

<令和2年度授業料 年額 535,800円(予定)>

(前期 267,900円 後期 267,900円(予定))

※授業料は入学時及び在学中に改定されることがあります。

※口座振替のお申込みが間に合わないなどの事情により、口座振替による納入ができない学生にのみ「振込依頼書」を5月20日頃にお送りいたしますので、当該依頼書をご利用ください。

エ. 入学料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、67ページ「XIV. 修学案内」を参照してください。入学料を納入すると申請できませんので注意してください。

## 2. 入学手続方法

### (1) 郵送締切日時

令和2年2月19日(水) 午後5時必着

ただし、上記締切日時までに手続ができない場合は、合格した学部の教務担当(73ページ参照)へ締切日時までに連絡して、指示に従ってください。

### (2) 郵送先・郵送方法

宛先は合格した学部の教務担当とし、64ページの「1. 入学手続に必要なもの」をすべて同封し、京都大学特色入試Webサイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、必ず書留速達として郵送してください。

※配達状況については、日本郵便の追跡サービス(<https://www.post.japanpost.jp/index.html>)を利用して確認することができます。

### (3) 注意事項等

入学手続が完了後、「大学入試センター試験受験票(医学部医学科を除く)」、「本学受験票」、「入学許可書」等の書類を2月25日(火)(法学部を除く)までに発送します。2月28日(金)(法学部を除く)を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当(73ページ参照)へ問い合わせてください。

なお、入学に関する書類は、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」冊子とともに、3月18日(水)(法学部を除く)までに発送する予定です。これ以後の各種手続はWebを用いたオンラインシステム上で行うこととなります。詳細につきましては、「入学案内-授業開始までの手続と行事-」等をご覧ください。3月23日(月)(法学部を除く)を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当(73ページ参照)へ問い合わせてください。

## 3. 入学辞退手続

本特色入試では、合格した場合は必ず入学することを確約する者であることを出願要件としております。合格者であって、真にやむをえない特別な事情が生じ入学を辞退しようとする者は、2月19日(水)(法学部を除く)午後5時までに具体的な理由を付した「特色入試入学辞退願」(様式任意、本人が署名・捺印したもの)を提出し、許可を得なければなりません。

なお、入学辞退が許可されない場合には、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。)を受験しても合格者となりませんので注意してください。

※手続き及び連絡先：合格した学部の教務担当(73ページ参照)

## 4. 入学手続上の諸注意

他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。)で入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

また、本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。)に入学手続することはできません。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org>)参照のこと。

## ⅩⅢ. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

1. 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学事務業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。  
したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学事務に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付いたします。
5. 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

## XIV. 修学案内

学生生活に必要な制度、施設等についての概要は、次のとおりです。

### 1. 入学料免除

入学料の納付が困難な学生に対して、(1) 出願資格のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

入学料免除希望者は、次の(1)～(3)に留意のうえ、手続きをしてください。

#### (1) 出願資格

下記の①または②に該当する場合に対象となります。

- ① 平成31年4月から令和2年3月までの間に、出願者の学資を主として負担する方（学資負担者）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等（地震、台風を含む）の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ② ①に準ずる場合で総長が相当と認める事由がある場合

#### (2) 出願手続

京都大学 Web サイトの入学料免除

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/jumen/index.html> によりご確認ください（Web サイトへの掲載は、1月下旬予定）。

#### (3) その他

- ア. 入学料免除の出願者で、入学手続期間以外に入学を辞退した場合は、速やかに入学料を納付してください。
- イ. 入学料免除の出願者（出願書類の提出まで終えた者）は、選考結果が決定（7月下旬予定）するまで、入学料の納付を猶予されます。（入学料を納付すると免除の対象としないので、注意してください。）
- ウ. 選考の結果、不許可または半額免除の決定がなされた場合は、その決定後、大学から改めて指示する期限までに入学料を納付しなければ、学生の身分を失います。

### 2. 入学料徴収猶予

入学料を納付期限までに納付することが困難な学生に対して、(1) 出願資格のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、入学料の徴収を猶予する制度があります。

入学料徴収猶予希望者は、次の(1)～(3)に留意のうえ、手続きをしてください。

#### (1) 出願資格

下記の①、②または③に該当する場合に対象となります。

- ① 経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- ② 平成31年4月から令和2年3月までの間に、出願者の学資を主として負担する方（学資負担者）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等（地震、台風を含む）の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情により納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合

#### (2) 出願手続

京都大学 Web サイトの入学料徴収猶予

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/jumen/index.html> によりご確認ください（Web サイトへの掲載は、1月下旬予定）。

### (3) その他

- ア. 入学料徴収猶予の出願者で、入学手続期間以外に入学を辞退した場合は、速やかに入学料を納付してください。
- イ. 入学料徴収猶予の出願者（出願書類の提出まで終えた者）は、選考結果が決定（7月下旬予定）するまで、入学料の納付を猶予されます。（入学料を納付すると徴収猶予の対象としないので、注意してください。）
- ウ. 選考の結果、許可または不許可の決定がなされた場合は、その決定後、大学から改めて指示する期限までに入学料を納付しなければ、学生の身分を失います。

## 3. 授業料免除

授業料の納付が困難な学生に対して、授業料を免除する制度があります。

出願資格や出願手続等については、京都大学 Web サイトの授業料免除

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/jumen/index.html> によりご確認ください（Web サイトへの掲載は、1月下旬予定）。

## 4. 奨学金

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生には、願い出に基づき、選考のうえ、奨学金が貸与または給付されます。

### (1) 日本学生支援機構（JASSO）奨学金

奨学金の種類と貸与・給付月額、次のとおりです。（平成31年4月現在）

- 第一種奨学金（無利子）
  - 自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択
  - 自宅外通学 自宅通学貸与月額のほか40,000円、51,000円から選択  
（最高月額には家計基準あり）
- 第二種奨学金（有利子）
  - 20,000円～120,000円（1万円単位で希望する月額を選択）
- 給付奨学金（予約採用のみ）
  - 自宅通学 月額 9,800円～29,200円
  - 自宅外通学 月額22,300円～66,700円

### ◇入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

大学の第1学年において、希望により、第一種・第二種奨学金の初回振込み時に、一時金として10万円～50万円を増額して貸与されます。この制度は、一定の収入金額以下の場合、または日本政策金融公庫〔国の教育ローン〕を申し込んで、貸付を受けることができなかった場合に申し込めます。

#### ア. 申込説明会

日本学生支援機構奨学金を希望する場合は、入学後、申込説明会を開催しますので、必ず出席してください。詳細については、「入学案内」等により通知します。

なお、入学の前年度に採用候補者に内定している場合は、次の「イ. 進学届の提出」を参照してください。

#### イ. 進学届の提出

入学の前年度に日本学生支援機構奨学生の採用候補者に内定している場合は、あらかじめ日本学生支援機構から交付されている「個人別パスワード」および本学が交付する「学校別パスワード」を使用して、インターネットから直接「進学届」を提出してください。なお、「学校別パスワード」の交付等については、「入学案内」等により通知します。

## (2) その他の奨学金（民間団体と地方公共団体）

日本学生支援機構奨学金のほか、教育推進・学生支援部学生課奨学掛では、地方公共団体、民間団体合わせて約90団体の奨学金を取り扱っています。詳細については、「入学案内」等により通知します。

## 5. 京都大学基金緊急支援一時金

学資を主として負担する方（学資負担者）が亡くなられたり、学生または学資負担者が災害（風水害、地震または火災）により被災するなど経済的な緊急時に、一時金（25万円）を給付（返済不要）し、修学・生活を支援します。

申請期間は当該事由発生日より3ヶ月以内（ただし、卒業・修了予定者については、卒業・修了予定日が属する月の前月末まで）となりますので、事由発生後速やかに教育推進・学生支援部学生課奨学掛にご相談ください。

## 6. 小口短期貸付

病気、不慮の事故、送金の延着、その他急な出費の場合に、無利子の貸付を行います。貸付金は1万円～5万円（1万円単位）です。この貸付用の資金は本学関係者の寄附によるものです。

なお貸付には、父母またはこれに代わる方を連帯保証人とする「債務保証書」を提出する必要があります（ただし、1万円の貸付の場合は不要）。希望者は教育推進・学生支援部学生課奨学掛窓口へ申し出てください。

## 7. 学生保険

学生保険として、学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、正課や学校行事中、課外活動中、これらに伴う通学中等の事故により、学生が被った傷害に対して適用される保険であり、学生生活を送るうえで重要な役割を果たします。また、学研災の付帯保険として、上記活動中（一部除く）に学生が法律上の損害賠償責任を負うことで被る、対人・対物の損害を対象とした学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）があります。

また、日常生活全般での損害賠償責任をカバーする大学生協が扱う学生賠償責任保険（学賠）があります。

なお、本学では入学の際、原則として、日本人学生は学研災・付帯賠償に、留学生は学研災・学賠に全員が加入することとなっています。

詳細については下記 Web サイトに掲載しています。

【京都大学 Web サイト】

(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Insurance>)

【大学生協 Web サイト】

(<http://hoken.univcoop.or.jp/student/>)・・・和文

(<http://kyosai.univcoop.or.jp/english/index.html>)・・・英文

## 8. 学生寄宿舍

京都大学の学生寄宿舍については、大学 Web サイトをご覧ください。以下の担当部署へお問い合わせください。

※京都大学 Web サイト

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campus/habitation/dormitory.html>

※教育推進・学生支援部厚生課厚生掛（TEL：075-753-2540）

## 9. 下宿・アパート等

京都大学生生活協同組合 (<http://www.s-coop.net>、TEL：075-771-0823) で、アパート・マンション等の紹介をしています。

## 10. 福利厚生施設

本学の福利厚生施設は、各構内（吉田、桂、宇治キャンパス）にそれぞれ食堂や購買部を配置し、学生生活における「食」の面でのサポートや生活環境の向上に資しています。

### 11. 学生総合支援センター

本学は、学生の修学上、適応上の相談に対応し、必要な支援を行うため、学生総合支援センターを置いています。センターには以下の3つのルームがあります。

#### (1) カウンセリングルーム

心理学を専門とするスタッフが学生生活上のさまざまな悩み（進路選択、学業、就職、人生観、対人関係、家庭、性、性格、心理障害、ハラスメント、その他）に関して、個人の秘密を厳守して相談に応じ、専門的助言と継続的援助を行っています。

#### (2) キャリアサポートルーム

ガイダンスやセミナー、学内合同企業説明会等の各種イベントと個別相談を通して、学生の進路決定や就職活動を支援します。ルーム内では求人情報、卒業生名簿、先輩の就職活動記録等の資料の閲覧が可能です。

#### (3) 障害学生支援ルーム

障害があるなどの理由により、修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、所属学部や関連部局と連携しながら支援を実施します。支援の内容や方法は、個々の状況やニーズと授業内容等の環境的要因をふまえ、専門的な判断により検討します。

### 12. 健康管理部門（保健診療所）

学生の修学や生活を健康面から支援するため、種々の保健・医療サービスを提供しています。全学生が受診する定期健康診断、化学薬品や放射線を取り扱う場合の学生特別健康診断、就職や免許取得時に必要な各種の健康診断を実施するとともに、生活習慣病予防のための保健指導や感染症予防のための予防接種、健康維持増進のための講座・イベントなどを提供しています。また、心身の不調や不安をかかえる学生には診療や健康相談を行っています。保健診療所（吉田・桂・宇治）には医師や看護師が待機しており、気軽にかかれる保健・医療施設です。

### 13. 課外活動

本学における学生の課外活動は、相互研鑽のため学生自らが主体的に行うもので、先輩や部員間の深い絆を育み、自己の生き方を求めながら、自己の存在を確かめる場として人間形成の上で意義あるものです。学部在学生の多くが何らかの形で参加しています。全学公認学生団体は、文化系と体育系に区分され、本学創立まもなく誕生したものから最近結成したものまで、約200団体があります。文化系団体は音楽・ダンス系、芸術・古典系、宗教系、人文・社会・自然系、その他に、体育系団体は体育会所属とそれ以外に分類されます。文化系各団体はそれぞれの設置目的に添って日常活動を行い、その成果を学内外に発表します。体育会所属運動部は、全国7大学総合体育大会や近畿地区国立大学体育大会のほか所属リーグ戦等に、体育会所属以外の体育系団体は所属リーグ戦等に参加しています。こうした日々の課外活動に参加することは、学生生活に張りりと潤いをもたらすこととなります。

また、毎年11月下旬に開催の11月祭（大学祭）は日常の活動を学内外に発表する場として、文化系・体育系を問わずさまざまなグループが参加する本学最大の学生イベントです。期間中は講演会、展示会、音楽会、演劇公演、模擬店などが開かれ、大学生活における楽しい思い出の一つとなる行事です。



#### 14. 図書館

学内には附属図書館をはじめ、各学部などに設置された約50の図書館・室があり、図書館機構として、連携しながらサービスを行っています。

各図書館・室は、学問分野に応じた図書や雑誌を収集しており、国宝や重要文化財を含む全学の蔵書冊数は、約712万冊に上ります。また、図書館機構は、多くの電子ジャーナルや電子ブック、様々な分野のデータベースを学内ネットワーク上で提供しています。

各図書館・室には、快適な学習空間を備えており、学習・研究のシーンに合わせて利用することができます。例えば附属図書館には、多数の閲覧席のほか、グループワークが可能なラーニング・コモンズや共同研究室、静かに学習できるサイレント エリア、24時間利用できる学習室24、パソコンが利用できるオープンスペースラボラトリなどがあります。

また、各図書館・室では、図書館員が資料収集や調べものをサポートしたり、資料の探し方などの講習会を行ったりしているほか、附属図書館には、大学院生スタッフが相談に応える学習サポートデスクもあります。

さらに、図書館機構では、インターネットを通じて、蔵書検索システムのほか、論文などの京都大学の教育・研究成果や所蔵する貴重資料の画像など広く公開しています。

各図書館・室の利用案内や図書館機構が提供する各種サービスへは、図書館機構Webサイト（URL：<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>）からアクセスすることができます。

#### 15. 情報環境

京都大学には、勉学から学生生活まで様々な活動を支援する情報環境が用意されており、学生アカウント（ECS-ID）やICカード化された学生証により、本人確認を経て利用することができます。

学内には、情報環境の基盤となる学術情報ネットワークシステム（KUINS：クインズ）があり、学内通信や学外へのインターネット接続に利用されています。KUINSの基幹部分には、ファイアウォールや不正侵入検知を設置し、情報環境を安全かつ安心して利用できるようにしています。

京都大学では、学生所有のノートPCを持参し、授業や自学自習で利用するBYOD（Bring Your Own Device）を推進しており、自分のノートPCやスマートフォン等は、学内Wi-Fi接続サービス（KUINS Air）を使って接続できるようになっています。

また、学内の様々な組織が提供するITシステム・サービスとして、全学生共通ポータルや学生用メール（KUMOI）、教務情報システム（KULASIS）、学習支援システム（PandA）、eラーニング研修システムなどがあります。

さらに、授業や自学自習で使用するPC端末サービスとして、固定型PC端末サービスや仮想型PC端末サービス（VDI）が利用でき、サテライト教室やオープンスペースラボラトリ（OSL）を設置しています。これらのPC端末には、オフィス系アプリケーション、プログラミング処理、統計処理、数式処理等、必要な様々なソフトウェアを導入しており、大学での授業と自主学習の総合的な情報環境を提供するとともに、電子メールやウェブを利用したコミュニケーションに利用できるようにしています。

#### 16. 教育職員免許状について

本学で取得できる教育職員免許状は、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状及び特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）です。

学部で認定を受けている課程の教科及び教科の指導法に関する科目と併せて、教育の基礎的理解に関する科目等を履修し、免許法所定の単位を修得した者は、中学校、高等学校教諭一種免許状申請の所要資格を得ることができます。

本学の各学部にて所要資格を得ることができる教育職員免許状の教科の種類は、国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科、英語、農業、情報です。※

なお、中学校教諭一種免許状を取得するには、「介護等体験」（特別支援学校で2日間、社会福祉施設等で5日間、計7日間）が義務付けられています。

また、中学校、高等学校教諭一種免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育に関する科目を修得すれば、特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）の所要資格を得ることができます。

※平成31年度入学者より所要資格を得ることができる教育職員免許状の教科の種類が変更となっていますので、注意してください。

### 17. CAP制について

本学では令和2年度入学者より一部の学部で、1学期で履修できる授業科目に単位数で上限を設定する制度「CAP制」を導入します。詳しくは各学部窓口にお問い合わせください。

### 18. 卒業後の進路

平成30年度卒業者の進路動向は下表のとおりです。卒業者の約56%が大学院に進学し、約34%が就職しています。

平成30年度 卒業者の進路状況

(令和元年6月1日現在)

学部名	進路		卒業者数		進学者数		就職者数		臨床研修医		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合人間学部	94	47	35	12	42	32					13	2
文学部	115	98	27	17	77	77					11	4
教育学部	39	30	8	9	31	19						2
法学部	238	91	54	26	152	58					24	4
経済学部	208	45	18	5	176	38					14	2
理学部	275	35	220	25	44	6					10	2
医学部 医学科	95	15	1	1			87	14			7	
医学部 人間健康科学科	33	110	17	36	12	60					2	5
薬学部 薬科学科	42	9	41	9							1	
薬学部 薬学科	20	9	5	1	14	8					1	
工学部	884	99	745	76	92	14					16	4
農学部	214	97	179	71	30	23					5	3
男計   女計	2,257	685	1,350	288	670	335	87	14			104	28
合計	2,942		1,638		1,005		101				132	
卒業者数に占める割合			55.7%		34.2%		3.4%				4.5%	

\*進路状況が未回答の者がいるため、進路種別の合計が卒業者数に一致しない。

## 【 問 い 合 わ せ 先 】

### 各学部教務担当

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教 務 掛	075-753-7875	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文 学 部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教 育 学 部	教 務 掛	075-753-3010	
法 学 部	教 務 掛	075-753-3107	
経 済 学 部	教 務 掛	075-753-3406	
工 学 部	教 務 掛	075-753-5039	
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	
医学部人間健康科学科	教 務 掛	075-753-9313	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
薬 学 部	教 務 掛	075-753-4514	
理 学 部	学部教務掛	075-753-3637	
農 学 部	学部教務掛	075-753-6012	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

### 入学試験関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 入試企画課入試第一掛	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

### 入学科・授業料免除、奨学金関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 学生課奨学掛	075-753-2536	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

### 学生寄宿舍関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 厚生課厚生掛	075-753-2540	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

#### ■ 京都大学特色入試に関する問い合わせ先

tokushoku-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールにてお問い合わせください。原則として、お問い合わせに対して個別に回答できませんが、京都大学特色入試 Web サイトに「よくあるご質問」としてまとめて回答いたします。

#### ■ 京都大学 Web サイト ホーム>入試・高大連携>特色入試

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>

#### ■ 京都大学特色入試 Web サイト

<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

京都大学 教育推進・学生支援部入試企画課  
京都大学 Web サイト <http://www.kyoto-u.ac.jp/>